

上野地区まちづくりビジョン策定委員会 基盤整備部会における検討結果について

第4回上野地区まちづくりビジョン策定委員会 基盤整備部会

令和元年11月13日(水)

章	項目	主なご意見	変更前	変更後	該当箇所
第2章	上野の歴史と現状	・(1) 上野の歴史で紹介される出来事は、(P23) 目標スケジュール内の主な節目と連動した記述にすべき。	—	・関東大震災が発災した年を追記 ・「昭和7(1932)年二代目上野駅舎落成」を追記の上、紹介写真も初代駅舎から二代目駅舎に変更	P. 4
第4章	取組みの方向性	・杜2 文化・芸術の交流の場づくりにおける例示が、上野恩賜公園の中だけでは実現が困難な事業が多く、表現を工夫してほしい。	—	・[杜2-①]の例示に、「交流広場」を追記	P. 13
		・杜3に記載の「託児サービス」や「芝生広場」については、都市公園と場所を限定されると厳しい。	・杜3 都市公園としての機能や賑わいの維持・向上	・「文化の杜に相応しい賑わいや公園機能の維持・向上」に変更	P. 13
		・杜の方針図内の歩行者ネットワークの充実の矢印について、噴水広場とアーククロスを結ぶ動線の記載がない。	—	・「歩行者ネットワークの充実」の矢印を追記	P. 14
		・[まち2-①]の例示において、中央通りにおける帰宅困難者対策と災害時の道路空間活用とあるが、中央通りは緊急輸送道路であり、道路活用は困難ではないか。	・[まち2-①]中央通りにおける帰宅困難者対策と災害時の道路空間活用(歩行者天国等の実施検討)	・「道路空間活用等による帰宅困難者対策の充実」に変更	P. 15
		・まち4のイメージ図について、中央通りが歩行者専用道のような図となっているが、もう少し歩行者天国をイメージする図に変更してはどうか。	・「道路空間の活用イメージ」図	・「かつての中央通りにおける歩行者天国の様子」の写真に変更	P. 15
		・杜まちの取組みにおけるイメージ写真について、もう少し上野の将来像に近いイメージを採用してはどうか。	・「国際都市の顔に相応しい風格ある駅前広場空間」及び「駅を中心とした交通機能の集約による交通結節点」のイメージ写真	・「国際都市の顔に相応しい風格ある歩行者広場空間」及び「駅を中心とした交通機能の集約による交通結節点」のイメージ写真を差替え	P. 17
		・[杜まち4-③]国際会議やシンポジウムが開催可能なホール等の導入とあるが、その需要について検証がされていない中で、少し表現が強過ぎるのではないか。	・[杜まち4-③]国際会議やシンポジウムが開催可能なホール等の導入	・「イベントやシンポジウムが開催可能なスペースの創出」に変更の上、イメージ写真も差替え	P. 18
		・杜まちの平面イメージ図について、杜・まちをつなぐ歩行者ネットワークの表記のうち、既に存在し活用を図るべき施設とまだ存在しないネットワークの記載について強弱をつけて表現できないか。	・平面イメージ「杜・まちをつなぐ歩行者ネットワーク」	・歩行者ネットワークの矢印表記について、色彩の濃淡をつけた表現に変更	P. 19
		・杜まちの断面イメージ図について、みどりのひろがりを示す表記が2種類あり、凡例にある木のマークの表記の表現が直接的過ぎるので配慮してほしい。	・断面イメージ「みどりのひろがり」	・凡例にある木のマークの記載は上野恩賜公園までとし、その他は大きな矢印表記にてひろがり表現	P. 19
		・上野地区全体の取組み方針図について、袴腰広場の脇からJR上野駅公園口につながる動線は大事なネットワークであり、もう少し表現を強くしてほしい。	・上野地区全体の取組み方針図「歩行者ネットワークの充実」	・区道58号線部分の表記について、杜のネットワーク(緑色)からまちのネットワーク(赤色)に変更	P. 21
・各取組みの方針図における駅や場所等の名称表記を揃えるべき。	—	・駅や場所等の名称表記を統一	—		

追加交通調査結果について

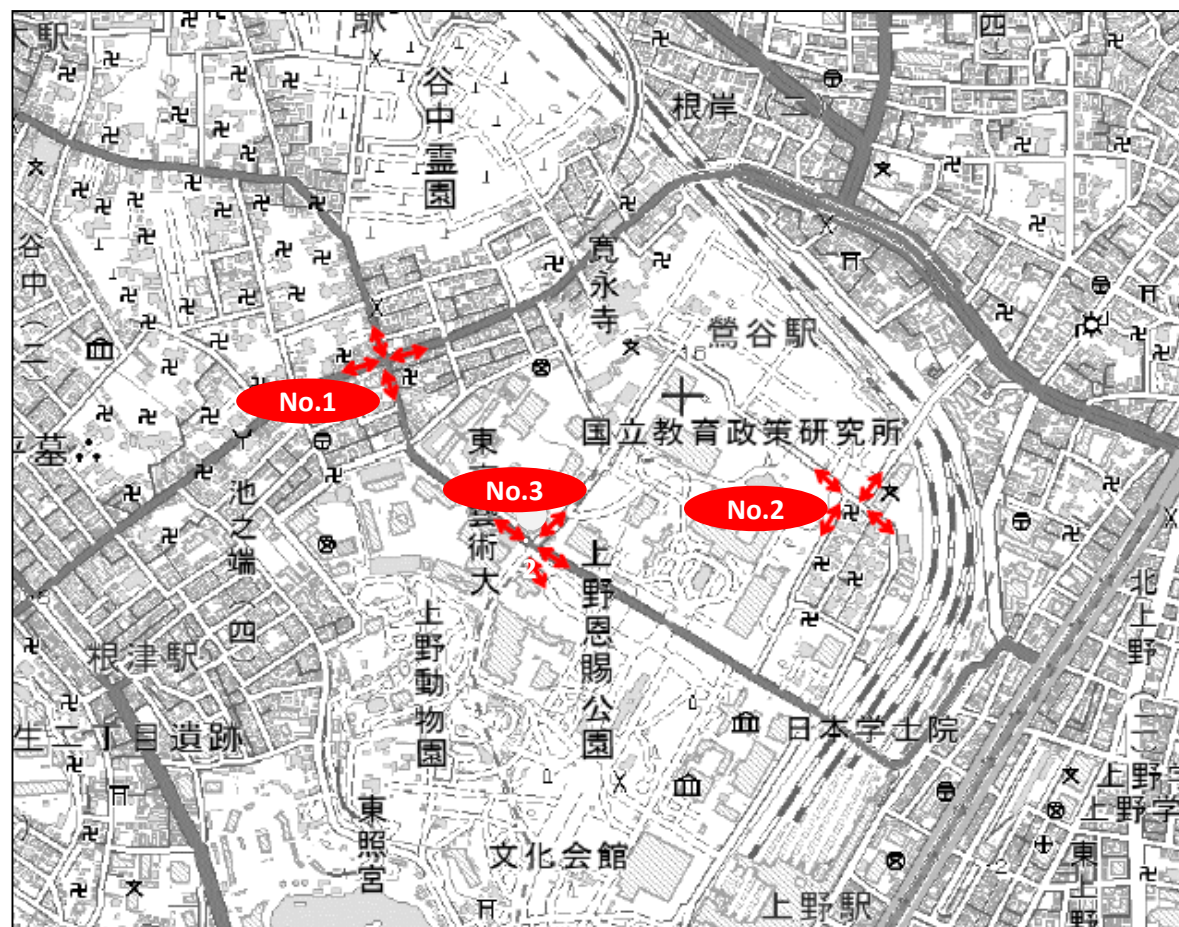
平成31年度追加調査

昨年度区が実施した「上野駅周辺交通調査業務」の結果や「上野地区まちづくりビジョン策定委員会」における議論を踏まえ、ビジョン策定のためにさらに必要となる**上野地区周辺（上野公園北側エリア）における歩行者通行量の実態を把握した。**

① 歩行者通行量調査

- 調査日時：（平日）平成31年4月23日（火）
（休日）平成31年4月21日（日）
- 調査時間：14時間（7時～21時）、平日・休日
- 調査内容：各断面の歩行者通行量を方向別に観測
- 調査地点：上野地区周辺歩道等3箇所※
No.1_言問通り・都道452号線交差点
No.2_鶯谷駅南口近傍歩道（区道62号線歩道）
No.3_アートのクロス交差点（都道452号線）

※ 調査箇所図



② 結果概要

- H31年度に調査を実施した上野公園北側（No.1～3）と、H30年度に調査を実施した上野駅周辺（No.8、9、13～16）を比較すると、平日よりも休日の交通量が多い点は共通しているが、平日に対する休日の交通量の比は上野駅周辺の方が大きい。
- また、上野公園北側と上野駅周辺の交通量に着目すると、交通量に大きな差がある。
 - 谷中方面と上野公園方面を結ぶ動線（No.1、No.3）の交通量は休日で概ね0.5～1.4万人/h（両方向。以下同じ）、鶯谷駅方面と上野公園方面を結ぶ動線（No.2）は0.3～0.5万人/h程度で、平日よりも1～2割多い。
 - 上野駅周辺（No.8、9、13～16）は、休日1～10万人/h程度、平日よりも3割～2倍程度多くなっている。
 - 上野駅周辺のうち、上野駅の東側（No.10～12、17）では平日で概ね0.6～2万人/h程度で、休日の2倍程度となる箇所も見られる。

